



高橋教授の

# この人に会いたい

Vol.20 ゲスト

# 最首英裕

氏

株式会社グループヴノーツ代表取締役社長

「AI」「IoT」が身近な存在になりつつある中、一方で「AIを使ったら何ができるのか」「どうすればAIの特徴を存分に活かせるのか」については、まだまだ理解が浸透しているとは言いがたい。そこで今回は、「機械学習をすべての人へ」を開発の軸に据えた「マゼランブロック」を生み、国内外で注目される株式会社グループヴノーツの最首英裕代表取締役社長を、高橋泰・国際医療福祉大学教授が直撃。最首社長が考えるAIの「賢い使い方」を聞く。

## 人間・社会を豊かにするのがAI 使いこなすために磨くべき「洞察力」

### 作家志望から ITエンジニアへ

**高橋** 御社が開発された「MAGELLAN BLOCKS（マゼランブロック）」はAI（人工知能）の一種である機械学習サービスですが、どのようなものなのか簡単に説明いただけますか。

**最首** マゼランブロックは、AIの専門的な知識や、コンピューターのプログラムが書けなくても、手軽に機械学習を利用することが

できるクラウドサービスです。データを用意してブロックをつなぐだけで、簡単に機械学習を使った高度なデータ分析・予測、たとえば、商品の販売傾向やイベント・セミナーの来場者数、病気の流行の予測などが行えます。当社は「機械学習の民主化」をミッションにしており、できる限り「難しさ」と「高額な費用」とを排除したいと考えています。一般的な企業向けの機械学習システムは、コンサル料なども含め数千万〜数億円かかりますが、マゼランブロックはクラ



ウドサービスですから、導入の初期コストは不要で、月々の利用料（10万円）だけで済みます。

**高橋** 手軽にAIに触れられるというのが画期的ですね。私の周りにはコンピューターリテラシーの高い人が多いのですが、実際に自分でAIに触ったことのある人はおらず、そこで私が最初にやってみようと思ったときに、マゼランブロックを知りました。そもそ

も、最首社長がIT業界に入られたのはどういうきっかけがあったのでしょうか。

**最首** 私はITエンジニアですが、もともと作家志望で、大卒後文学部を卒業しました。ただ、興味で高校時代からコンピューターのプログラミングをやっている、大学時代も通信プログラムを自分でつくっていました。その流れで、卒業後はITエンジニアの道に進

み、三菱商事グループのシステム関連会社に入社しました。ITエンジニアで採用されたのですが、なぜかコンサルタント業務に就かされ、地域再開発のコンサルに従事し、そこで建物のネットワーク構築に携わりました。1980年代後半でインターネットはまだ社会に普及しておらず、LANが始めた頃です。そこで、LANを先導していた米国に長期出張して現場を見て回り、ネットワークエンジニアとして仕事を始めました。独立したのは98年。ちょうど、プログラミング言語でJavaの技術が出てきた頃で、大企業はまだCOBOLなど古いタイプを使っていたので、新しいJavaの技術でイノベーションを起こしたいと思ったのです。

### 本当に使いたい人に AI技術を届けたい

**高橋** 機械学習に取り組み始めたのはいつからですか。

**最首** 3年ほど前です。初期のマゼランブロックには機械学習の

機能はなかったのですが、Googleが機械学習の活用に取り出すという話を聞き、Googleのいろいろな機能をプログラミングなしで使えるようにするためにつくったのが、現在のマゼランブロックです。コンセプトは「ノンプログラミングで誰もが機械学習を使う」というもの。私たちが機械学習のモジュール（プログラムの部品）をつくり、マゼランブロックがGoogleの環境のなかで動くようにしました。

**高橋** それで、Googleに認められたわけですね。

**最首** 開発の背景として、この10年ほどで技術革新が非常に進み、普通のユーザーが求める以上のレベルにまで技術が進化したことがあります。その結果、大きな情報ギャップが生まれました。多くの人がいろいろなITを苦労しながら活用していますが、本当はもっと簡単にできることがたくさんあり、また、できないと思っただけで、実はできることも多い。しかし、ユーザー側の知識が不足しているために、SI（システム



## 多くの価値を許容する能力、 世の中の仕組みを モデル化する力が必要

高橋

### 高橋 泰

Tai Takahashi  
国際医療福祉大学赤坂心理・  
医療福祉マネジメント学部長・教授  
たかはし・たい●1986年、金沢大学医学部卒業。  
同年、東京大学病院第1第3第2内科・麻酔科で研修。  
92年、同大学医学部医学系大学院医学博士課程修  
了(医学博士)後、米国スタンフォード大学に留学。  
94年、ハーバード大学公衆衛生校に武見フェロー  
として留学。97年4月、国際医療福祉大学医療福  
祉学部医療経営管理学科教授。2009年から現職。  
16年9月より安部内閣未来投資会議の構造改革徹  
底推進会合医療福祉部門副会長。

高橋 AIに対しては、一方で仕事  
が奪われるという懸念が持たれ  
ています。事務などの知的単純労働  
は確実に置き換わると思います。  
それは、教育者として切実な問題  
で、これから社会に出て行く学生  
たちに何を教えるべきか、非常に  
悩んでいます。  
最首 確かに「AI時代における  
教育」のあり方は重要なテーマだ  
と思います。10〜20年後に必要と  
なるスキルをどう教えるのか。知  
的単純労働がAIに置き換わる社  
会で人に求められる者を考えてい  
くと、結局、人間とは何か、社会  
とは何かを深く洞察する力に行き  
着く気がします。

高橋 私は、2つの能力が重要に  
なると考えています。1つは多く  
の価値を許容する能力。私は学生  
時代にさまざまなジャンルの本を  
手当たり次第に読み、またバック  
パッカーで世界を歩き回っている  
ような人に出会ったことが、情報  
や医療の先端で生きてきたこれま  
での人生において、とても大きな  
財産になりました。自分の許容範  
囲が広がったことで、時代の変化  
にもどうにか対応できてきたと感  
じています。許容範囲が狭いと、  
少しズレると、あるいは新しい事  
象に対応できない。したがってダ  
イバーシティーの発想で、幅を持っ  
ているんな分野、いろんな価値観  
を許容することが大切になります。

高橋 本日はありがとうございます。  
AIをはじめ、技術の裏には必ず  
人間がいて社会があります。その  
バランスを失わないようにモノを  
考えることが大切ではないかと思  
います。

## 世の中に変革を 起こすのは エンジニアではなく、 普通の人たちです

最首

### 最首英裕

Saishu Eihiro  
株式会社グルーヴノーツ代表取締役社長  
さいしゅ・えいひろ●早稲田大学第一文学部卒業後、大  
手SI会社に勤務。地域再開発コンサルタントを経てネッ  
トワークエンジニア。大規模ネットワークの設計・構築を  
手がけると同時に、ネットワーク製品の企画開発を行う。  
その後、米国Apple社の製品開発にかかわったことがき  
つかけとなり、数多くの製品開発を手がける。その後、米国  
組み込み系企業に転職。日本の代表として、日本市場開  
拓を行う。その後、ベンチャー企業を設立。設立後3年で  
JASDAQ上場。13年間のベンチャー経営を経て、MBO。株  
式会社グルーヴノーツ代表取締役就任。機械学習の民主  
化をすすめるべく、MAGELLAN BLOCKS事業を推進。

インテグレーター)などの言いな  
りになってしまっている。つまり、  
AIはもっと簡単だし斬新的なこ  
とができることを示した  
いと考えているのです。世の中に  
変革を起こすのはエンジニアでは  
なく、普通の人たちです。本当に  
使いたい人に技術を届けたいとい  
うのが、マゼランブロックスの開  
発の根本にあります。

技術をどう結びつかせるのかとい  
うことですね。  
最首 そういふものが、特に機械  
学習の分野にはなかった。プログ  
ラムを勉強した人ならばプログラ  
ムを組めるかもしれませんが、そ  
れが実社会のなかで使い物になる  
かどうかは別です。プログラムを  
つくって動くところからすべてが  
始まる。安定的に動く状態になっ  
たところから、何を学習させてど  
ういう結果を得るのか、そのため

高橋 私はよくスマートフォン(ス  
マホ)を例に話をします。スマホ  
の技術を支える技術者は当然必要  
だけど、多くの人にとってスマホ  
の仕組みを知る必要はなくて、ア  
プリをいかに有効に使えるかが大  
事です。たとえば、アプリを使っ  
て医療情報の伝達や患者さんの流  
れなど、現場のニーズとどう結び  
つけるか。私が学部長を務める国

際医療福祉大学の医療マネジメント  
ト学科ではそういうことを考え、  
人工知能を医療分野で活用できる  
人材を育成したいと考えています。  
その一環として、学生たちにマゼ  
ランブロックスを使わせて、病院  
の入院患者数の予測をする実験を  
始めます。ある病院の過去2年間  
のデータを収集して、月ごとの患  
者数を予測するというものです。  
最首 それは可能だと思います。  
機械学習のためのデータ量がある  
程度必要になるので、小規模のク  
リニックでは難しいかもしれませ  
んが、患者さんが大勢いる大病院  
ならば、かなりの精度で予測値を  
出せると思います。実際にマゼラ  
ンブロックスを導入している企業  
では、コンビニエンスストアの新  
規出店の売り上げ予測、金融機関  
のコールセンターにかかる電話の  
本数、穀物相場の金額——といっ  
た予測を出しています。データは  
数字だけでなく画像も使えます。  
がん細胞と正常細胞の画像デー  
タをマゼランブロックスに入れて特  
徴を学習させると、患者さんの画  
像を見てがん細胞の確率が何%か